

農研速報

令和4年8月4日発行

茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況(7月28日現在、水戸市)

県名 (試験場所)	品種	生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針	備考
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ	<p><u>気象概況:5月18日～7月27日(直近5か年の平年値との比較(水戸地方気象台観測値))。</u> 上記期間の平均気温は23.1℃で、平年(22.4℃)に比べてやや高かった。 降水量は257mmで、平年(315mm)に比べてやや少なかった。 日照時間は396時間で、平年(356時間)に比べてやや長かった。</p> <p><u>生育概況:令和2年度より株間を25cmから35cmに変更した。なお、両品種ともに、平成29年度から令和3年度の5か年の平均値を平年値として記載した。</u></p>	ナカジロシタバなどによる食害が一部見られる。	病害虫、特にナカジロシタバの発生に注意し、適宜防除を行う。	
	べにはるか	<p>地上部の生育 つる重は平年値に対して「ベニアズマ」、「べにはるか」はかなり軽いと推察される。</p> <p>地下部の生育: 総いも重は「ベニアズマ」がやや軽い、「べにはるか」がかなり軽いと推察される。</p> <p>挿苗後に低温が続いたため、初期生育が悪かった。その後、6月中旬頃から気温の高い日が続き、関東は6月27日頃に最短の梅雨期間を記録した。6月中旬頃から7月中旬頃まで降雨量が少なく乾燥した日が続いた。これらにより、両品種ともに地上部と地下部の生育が悪くなったと推察される。</p>			

表 生育調査(挿苗後71日、7月28日調査)

品種	つる重			1株当たり塊根数			塊根1個重			総いも重			上いも重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	151	103 (146.0)	61 (247.7)	4.6	94 (4.9)	97 (4.7)	68.4	91 (75.2)	110 (62.3)	89.0	85 (104.2)	87 (102.6)	80.8	88 (91.7)	91 (89.2)
べにはるか	143	66 (215.6)	51 (281.9)	6.3	106 (5.9)	127 (4.9)	37.3	54 (68.5)	62 (60.5)	66.6	58 (115.4)	64 (103.5)	57.5	58 (99.7)	66 (87.6)

()内は前年または平年の数値。平年値は平成29～令和3年(5か年)のデータの平均値。

塊根は直径3mm以上のもの、上いも重は一個50g以上のものとした。

挿苗日:5月18日、黒マルチ栽培、栽植密度:286株/a(畦間100cm×株間35cm)、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における生育状況 (7月28日撮影)



ベニアズマ



ベにはるか